

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 365番
- *交読文 58番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 107番
- 礼拝のための祈り 申振淑 執事
- 賛美 521番
- 聖餐式 281番
- メッセージ 十字架の前の人間模様(ルカ 23:13-27)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 545番
- 献金感謝の祈り パスター
- 報告と歓迎 今週は受難週です。主の苦難を覚え、復活を覚えましょう。
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が 70 名与えられる ように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れてお祈り下さい)

「人々の前で自分をわたしの仲間であると言い表す _____ なら、わたしも天の父の前で、_____ をわたしの仲間であると言い表す。しかし、人々の前でわたしを知らないと言う _____ なら、わたしも天の父の前で、_____ を知らないと言う。」(マタイ 10:32)

「見よ、わたしは戸口に立って、たたいている。_____ がわたしの声を聞いて戸を開ける者があれば、わたしは中に入って _____ と共に食事をし、_____ もまた、わたしと共に食事をするであろう。」(黙示録 3:20)

私は _____ の信仰がなくならないように、_____ のために祈りました。だから、_____ は、立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい。(ルカ 22:32)

本日は棕櫚の主日で、イエス様が十字架に架けられるためにエルサレム入城をしたのを覚える日である。群集はロバに乗って通られるイエス様の行く道に、棕櫚の葉を切って敷いたり、自分の服を脱いで敷いたりして、「ホサナ」(ああ救い給え)と叫びつつイエス様を迎えたが、群集はイエスがどういってお方かを知らず(マタイ 21:1-11)、一週間もしない内に今度はイエスを「十字架につけろ」と叫ぶ側へと一転した。十字架へと向かうイエスを中心に、色々な人物が登場し、色々な人間模様が展開されるが、私達は彼らを歴史上の人物として第3者的にどうこう批評するのではなく、私達はキリストの一体「何」で、キリストの十字架に関わる登場人物の内の、誰に該当するかを、意識するべきである。

「ピラトは彼らの要求をいれる決定を下した。そして、暴動と殺人のかどで投獄されていたバラバを要求どおりに釈放し、イエスの方は彼らに引き渡して、好きなようにさせた。」(ルカ 23:24-25)

ポンテオ・ピラトは使徒信条でマリヤに次いで出る程、キリスト者にとって重要な人物である。主が苦しみを受けられたのは祭司長や律法学者、ローマ兵の元であり、ピラトはむしろイエスさまを3度もかばっていて一見良い人物にも見えるのに、なぜ使徒信条では「ポンテオ・ピラトの元で苦しみを受け」なのか。祭司長や律法学者達など、イエス様を最初から否定し、否定して終わるような者達には、主は目も留めておられないが、主に目を向けようとする者達にこそ主は目を留められ、特別に扱われるのだ。ポンテオ・ピラトは、総督として、イエス様を十字架につける権限もあれば、十字架から守る権限もあった。実はキリスト者は、ポンテオ・ピラトと実によく似た立場にあり、人間(自分も含め)の意見を突っぱねてイエス様を解放する選択を取るか、それとも、人(自分も含め)の意見に妥協してイエス様を拘束し、内にいる暴動と人殺しのバラバを解き放つか、という権限が、いつでもある。それ故、あなたも人の意見に妥協してイエス様を退ける時、主は「あなたの元で苦しみを受け」られるのだ。

ヘロデ・アンティパスはイエスを見ると、非常に喜んだ。それは、イエスのうわさを聞いて、ずっと以前から会いたいと思っていたし、イエスが何かしるしを行うのを見たいと望んでいたからである。(ルカ 23:6-12)しかし彼は興味本位で色々と質問するだけで、それに対してイエス様は、一言も言わず黙っていた。イエス様を単に興味本位で質問し、派手に飾り立てたり茶化したりして見て、イエス様から何も反応が無いと、なぶりものにして送り返すような者達に対しては、イエス様は始終、何の反応もされないのだ。

イエス様はピラトの前で多くの鞭を打たれ、多量の出血をしていた為、十字架を最後まで運びきる事が出来なかったため、たまたま通りかかったクレネ人シモンが徴用され、イエス様の十字架を運ぶ事になった。彼はたまたまその場に居合わせ、血まみれで十字架を運ぶイエス様を野次馬のように見ていただけだったかもしれない、そこを突然徴用された為、とんだとぼつちりももらったと思ったかもしれない。しかし、かの死刑囚はどうも邪悪ではなさそうで、しかも、大勢の女達が泣きながら彼に従っていた。彼女達は「お前達もイエスの仲間か」と捕らえられさえされない程、数に入らぬ、取るに足らぬ存在だった。恐らく女性達は「本当は私達があなたの役割を果たしたかった」「でも、力が無いので出来なかった。」「助けてくれて本当にありがとう」と、シモンに声をかけただろう。彼はアレキサンデルとルボスの父で(マルコ 15:21)、そのルボスがローマ 16:13 の人と同一人物であるとしたら、彼は後のキリスト者の集まりで「主にあって選ばれた者」として有名人物となったのだろう。クレネ人シモンはある日偶然、ぼろぼろのイエス様と出会い、半ば暴力的に一緒に十字架を背負う助けをし、女性達はただ泣いてついて行くしか出来なかったが、そうする事で主と共に十字架を背負ったのだ。

クレネ人シモンはやがて十字架を肩から下ろす時が来て、そして主は大勢の人の身代わりとして十字架にかかる。それはイエス様しか出来ないが、シモンや女性達のように、私達も主と共に負える十字架がある。私達は十字架の主を前に、祭司長達に扇動された人々にも、祭司長にも、ペテロにも、イスカリオテ・ユダにも、ポンテオ・ピラトにも、ヘロデにも、クレネ人シモンにも、名も無き女性達にも、なり得る。自分を捨て、自分の十字架を負い、その上で主について行く皆さんでありますように！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

日曜礼拝	
1部礼拝(韓国語通訳あり)	10:30
食事/フェローシップ	12:00～
2部礼拝	14:00
聖書勉強会	15:00

日々の集会		
月～金	早天祈祷会	5:00～
火・木	夜の祈祷会	21:00～
水曜集会		
1部		13:00～
2部		19:30～
金曜徹夜祈祷会		21:00～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で

聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I -201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト